



【2018-04-11】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、  
人生を味わう

今週の雑感

『ワンちゃんの散歩から  
見る犬・模様』

長野修二

## ワンちゃんの散歩から見る犬・人模様

---

わが家のワンちゃんと散歩をはじめて四か月が過ぎましたが、散歩は驚きの連続でしょうか。

まずは犬同士の出会いで双方の犬が吠えたり唸ったりすることがないことです。

どの犬もフレンドリーで楽しそうにわが家の犬に挨拶してくれます。先代の犬は、私が仕事をしていた関係で休日以外に散歩することはありませんでした。

しかも、家の周りを中心に散歩していたので犬同士も友達なのか、散歩の途中で出会えばじゃれあってきたように記憶しています。ほとんどの散歩は妻がしていましたから犬の行動をよく観察する余裕もなかったのかもわかりません。

私の遠い記憶に残る犬の散歩では、犬同士が出会えば途端に唸り声をあげてけんかモードになっていたように思えます。

仲良くななどというよりは、すばやく犬同士を引き離してその場を立ち去ることが散歩の常道でした。

今のワンちゃんは、わが家のワンちゃんを含めてまずもって吠えないですし、相手のことを観察しながら適当な距離をとっています。このまわいの取り方も絶妙で人間よりも上手に立ち振る舞っているように感じます。

犬との散歩は、また、人間と犬との関係もよくみえてきます。

飼い主がどのような態度で犬と接しているのかもよくわかり、犬との距離感もなかなかよい雰囲気というか、独特の雰囲気を醸し出しています。

人と犬がステップを踏みながら楽しそうに散歩する様子など、みていて微笑ましいものです。

それだけ人間との信頼関係が厚くできあがっているのでしょう。

心を通わせている光景は、みているこちらにも楽しさが伝わってきて幸せになれます。

わが家のワンちゃんではこうはいきません。

あくまでマイペース！

だいたいどのような犬種でもみなおりこうさんにしていますが、それぞれの飼主の方達も見知らぬ私にも挨拶をされる方が多く、犬を通じた交流は穏やかで控え目なのも特徴でしょうか。

お互いに道をゆずりあったりと人間関係としても気持ちよく散歩ができます。

散歩をする道すがらの景色もとてもよいし、人間関係や犬との関係がよければ毎日の散歩が楽しくなるも当然でしょう。

なかには赤ちゃんをおんぶして優雅な中型犬を公園で遊ばせているお母さんをみると、私のように中型犬の飼育でアップアップしているようではなんとも情けなくなります。

また、「母は強し」をまじかに実感できます。

人の赤ん坊に比べたらワンちゃんの面倒などなんてことないように思えます。

そのワンちゃんの楽しそうな姿をわが家のワンちゃんもじっと眺めていました。

楽しそうにしている様子は、犬でもちゃんとわかるようです。

今日、はじめて田んぼのあぜ道を散歩しましたが、とても優雅な散歩とはいきません。

なんといっても鼻を働かせてあちこち匂いを嗅いでは、その辺にあるものを噛み始めます。

優雅さや上品さはありませんが、わが家の特徴である「元気」だけは、この子（犬）にも乗り移っているようです。

今日見たワンちゃんのように優雅に遊ぶことは夢でしょうか。

妻に言わせれば、もう少しおとなしくなってくれればと、つぶやいています。

まだまだ元気一杯の日々は、当分続いていくでしょう。

それに付き合っていくのも、また人生でしょうか。